

2025年3月19日

中国地域の経済動向

(2025年1月の指標を中心に)

～持ち直しの動きに足踏み感がみられる～

中国地域の経済は、生産は横ばい傾向、個人消費は持ち直しの動きに足踏み感がみられる、雇用は有効求人倍率は前月に比べ上昇、新規求人数は前月比で増加など、全体として、持ち直しの動きに足踏み感がみられる。

※当局ホームページ (<https://www.chugoku.meti.go.jp>) にも同様の資料を掲載しております。

■項目別の動向

1. 生産動向・・・横ばい傾向

別添 中国地域鉱工業生産動向参照

2. 個人消費・・・持ち直しの動きに足踏み感がみられる

別添 中国地域百貨店・スーパー販売動向参照

3. 雇用・・・有効求人倍率は前月に比べ上昇、新規求人数は前月比で増加

4. 景況感・・・現状、先行きともに前月に比べ低下

5. 貿易・・・輸出、輸入ともに前年同月比で増加

6. 建設動向・・・公共工事、住宅建設ともに前年同月比で減少

7. 企業倒産・・・件数は前年同月比で減少、負債総額は前年同月比で増加

8. 設備投資・・・2024年度計画は前年度を上回る見込み(更新なし)

※各項目の詳細については、次頁以降を参照してください。
※基調における下線は、前回からの変更箇所です。

(本発表資料のお問合せ先)
総務企画部企画調査課長 腰本 和輝
電話: 082-224-5633
メール: bzl-chugoku-chosa@meti.go.jp

1. 生産動向 ～横ばい傾向～

(中国地域鉱工業生産動向 2025年1月 速報)

2025年1月の鉱工業生産指数は 100.9、前月比 ▲1.4%の低下となった(2020年＝100、季節調整済)。出荷は低下、在庫は低下、在庫率は低下となった。

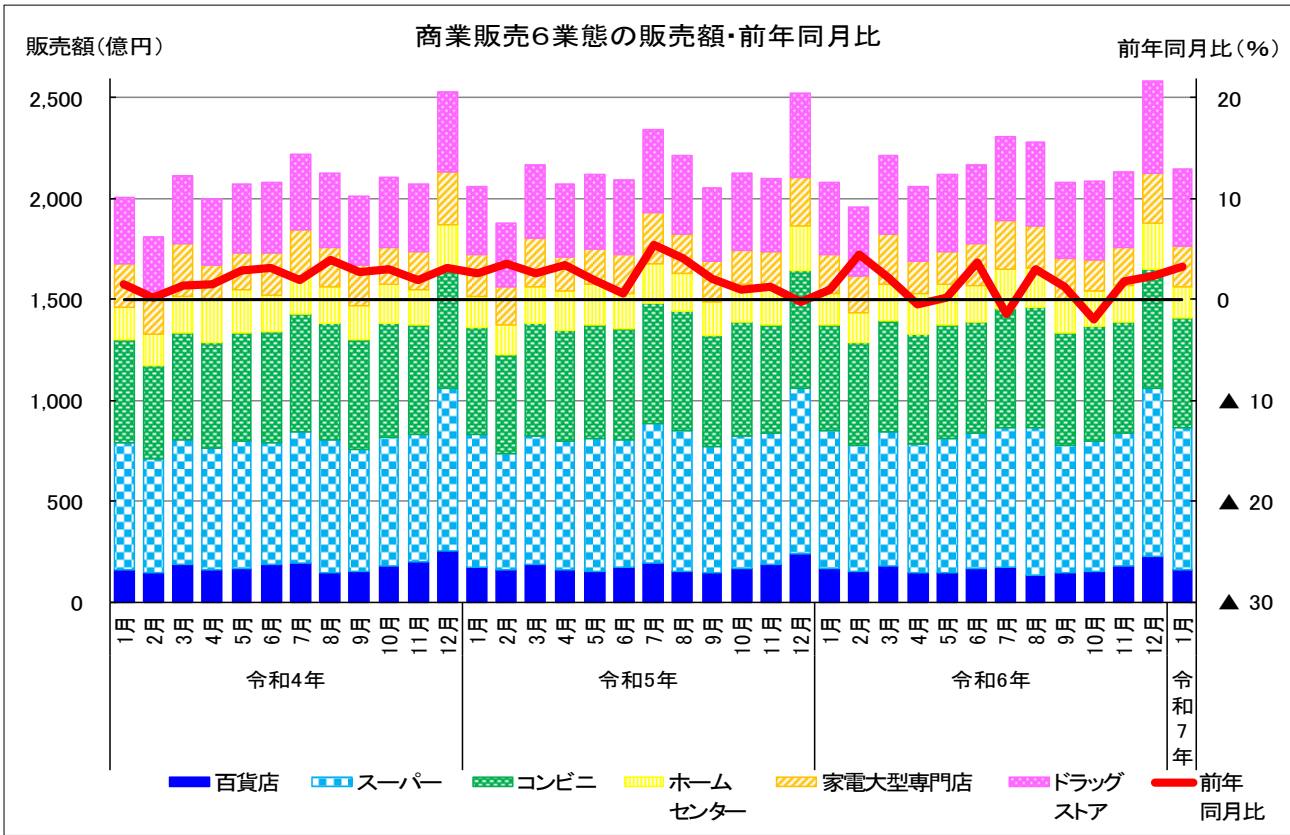
2. 個人消費 ～持ち直しの動きに足踏み感がみられる～

1月の商業6業態の販売額は2,149億円で、前年同月比3.3%と3か月連続で前年を上回った。

1月の乗用車新車登録・届出数は、普通乗用車、小型乗用車、軽乗用車が前年同月を上回り、合計では前年同月比20.1%と3か月ぶりに前年を上回った。また、1月の消費者物価指数(生鮮食品を除く総合指数)は前年同月比3.3%の上昇となった。

(1)商業6業態(1月)

		(百万円)			(全店舗、%)
(6業態における構成比)		販売額	前年同月比		(前月の前年同月比)
6業態		214,921	3.3	3か月連続 プラス	(2.3)
百貨店・スーパー		86,804	2.1	3か月連続 プラス	(0.0)
百貨店	(7.5%)	16,022	▲ 5.1	17か月連続 マイナス	(▲ 5.2)
スーパー	(32.9%)	70,782	3.9	3か月連続 プラス	(1.5)
コンビニエンスストア		53,899	2.1	6か月連続 プラス	(2.1)
ホームセンター		15,561	3.1	3か月連続 プラス	(0.2)
家電大型専門店		20,055	3.6	3か月連続 プラス	(0.8)
ドラッグストア		38,602	8.0	37か月連続 プラス	(10.6)



- ・百貨店の販売額は160億円で、前年同月比▲5.1%と17か月連続で前年を下回った。
- ・スーパーの販売額は708億円で、前年同月比3.9%と3か月連続で前年を上回った。
- ・コンビニエンスストアの販売額は539億円で、前年同月比2.1%と6か月連続で前年を上回った。
- ・ホームセンターの販売額は156億円で、前年同月比3.1%と3か月連続で前年を上回った。
- ・家電大型専門店の販売額は201億円で、前年同月比3.6%と3か月連続で前年を上回った。
- ・ドラッグストアの販売額は386億円で、前年同月比8.0%と37か月連続で前年を上回った。

(単位: 百万円、%)

	百貨店			スーパー			コンビニエンスストア		
	販売額	前年(同月)比	店舗数	販売額	前年(同月)比	店舗数	販売額	前年(同月)比	店舗数
令和4年	213,575	3.2	13	763,978	2.1	328	651,000	2.6	3,065
令和5年	211,271	▲ 1.1	13	793,196	3.8	328	665,865	2.3	3,066
r 令和6年	197,780	▲ 6.4	12	813,961	2.6	330	670,147	0.6	3,056
令和6年1月	16,885	▲ 3.4	13	68,123	3.6	328	52,813	0.0	3,061
2月	15,428	▲ 3.2	12	62,137	7.2	327	50,948	4.2	3,053
3月	17,801	▲ 5.2	12	66,740	5.1	328	55,301	▲ 1.0	3,050
4月	14,527	▲ 10.4	12	64,139	0.9	328	54,118	▲ 1.3	3,050
5月	14,865	▲ 5.2	12	66,548	1.3	329	56,212	▲ 0.3	3,045
6月	16,684	▲ 4.8	12	67,160	6.7	330	54,873	▲ 0.3	3,044
7月	17,397	▲ 11.3	12	69,318	0.2	330	59,046	▲ 0.2	3,051
8月	13,685	▲ 10.7	12	72,539	4.3	330	60,278	1.0	3,053
9月	14,473	▲ 3.5	12	63,122	1.2	330	55,695	1.2	3,054
10月	15,470	▲ 8.1	12	64,509	▲ 2.1	329	56,940	1.0	3,056
11月	17,839	▲ 5.7	12	66,307	2.5	329	54,598	1.7	3,056
r 12月	22,727	▲ 5.2	12	83,319	1.5	330	59,325	2.1	3,056
p 令和7年1月	16,022	▲ 5.1	12	70,782	3.9	336	53,899	2.1	3,052

	ホームセンター			家電大型専門店			ドラッグストア			商業6業態 計	
	販売額	前年(同月)比	店舗数	販売額	前年(同月)比	店舗数	販売額	前年(同月)比	店舗数	販売額	前年(同月)比
令和4年	224,042	▲ 1.2	403	247,359	▲ 1.4	181	415,822	6.0	971	2,515,776	2.3
令和5年	219,575	▲ 2.0	403	241,928	▲ 2.2	177	442,477	6.4	1,015	2,574,312	2.3
r 令和6年	218,856	▲ 0.3	402	239,785	▲ 0.9	176	468,052	5.8	1,045	2,608,581	1.3
令和6年1月	15,093	▲ 2.0	402	19,360	▲ 8.1	176	35,731	6.9	1,015	208,005	1.0
2月	14,976	0.7	402	17,899	▲ 3.7	176	34,691	10.9	1,018	196,079	4.5
3月	17,971	▲ 0.8	403	24,593	1.9	176	38,804	7.4	1,025	221,210	2.2
4月	19,954	▲ 0.3	403	16,112	▲ 3.0	176	37,411	4.2	1,027	206,261	▲ 0.4
5月	19,849	0.2	403	16,241	▲ 7.6	176	38,553	5.2	1,030	212,268	0.2
6月	18,196	2.2	403	21,021	10.6	176	39,074	5.9	1,029	217,008	3.7
7月	18,999	▲ 3.6	403	24,469	▲ 4.9	176	41,691	2.3	1,032	230,920	▲ 1.4
8月	19,270	5.4	403	20,735	5.7	176	41,715	6.8	1,036	228,222	3.0
9月	16,828	1.5	403	19,968	0.3	176	37,826	3.7	1,038	207,911	1.2
10月	17,272	▲ 8.0	400	15,664	▲ 5.3	174	38,800	1.5	1,038	208,656	▲ 1.9
11月	18,061	0.9	401	19,028	1.9	176	37,818	4.6	1,043	213,651	1.7
r 12月	22,387	0.2	402	24,695	0.8	176	45,938	10.6	1,045	258,390	2.3
p 令和7年1月	15,561	3.1	401	20,055	3.6	176	38,602	8.0	1,047	214,921	3.3

注1: p は速報値、rは確報値。ただし、令和5年分は年間補正値。

注2: 百貨店、スーパー及び商業6業態の販売額は、単位未満を四捨五入しているため、内数の計と合計が一致しない場合がある。

注3: 表中の数値は全店ベースの数値。

参考：広島市の気温

対平年+ 0.3℃ 対前年▲0.8℃

★★令和7年1月の動き（各店舗の声から）★★

【百貨店】

衣料品は下旬の気温が高く冬物が失速し、その後の気温低下で春物の出足も遅れたほか、バーゲンが低調だった。また、飲食料品は物価高による節約志向の高まりにより生鮮食品が低調だったが、食品福袋や催事は好調だった。そのほか、時計や宝石などの高額品が好調だった。

【スーパー】

価格上昇によりキャベツ、白菜、大根などの野菜や米の売上が増加したほか、年始は寿司、オードブル、菓子や調味料の福袋が好調だった。また、気温低下により羽毛布団が好調だった。一方、衣料品はコロナ明け以降好調だったスポーツウェアの需要が落ち着き低調だった。

【コンビニエンスストア】

割安感でおにぎりやカップ麺が好調だったほか、販売促進効果で揚げ物が好調だった。また、価格上昇によりチョコレートなどの菓子や飲料の売上が増加した。一方、家飲み需要の低下で酒類は低調だった。

【ホームセンター】

価格上昇により米、灯油、洗剤、紙製品の売上が増加した。また、春に向けて苗物や資材などの園芸用品が好調だった。一方、節約志向により収納用品などのインテリアが低調だった。

【家電大型専門店】

気温低下によりエアコンが好調だったほか、空気清浄機が好調だった。また、携帯電話は値引き規制の影響で落ち込んだ前年同月と比べて好調だった。

【ドラッグストア】

価格上昇により米の売上が増加したほか、調剤薬局を併設した店舗の増加により調剤医薬品が好調だった。また、風邪やインフルエンザの流行により総合感冒薬、咳止め、マスクが好調だった。

(2)乗用車新車登録・届出数

(前年同月(期)比%)

		2022年	2023年	2024年	2024年			2024年			2025年
					4-6月	7-9月	10-12月	10月	11月	12月	1月
乗用車新車登録・届出数	中国	▲ 5.9	15.5	▲ 8.7	▲ 10.1	1.2	▲ 1.2	4.6	▲ 1.5	▲ 7.4	20.1
	普通乗用車							16.8	8.2	▲ 0.6	14.7
	小型乗用車							15.4	▲ 4.1	▲ 22.0	27.3
	軽乗用車							▲ 10.8	▲ 8.9	▲ 6.2	22.4
	全国	▲ 6.2	15.8	▲ 6.7	▲ 6.9	1.2	▲ 3.2	1.0	▲ 3.9	▲ 7.0	15.0

(中国運輸局資料をもとに当局作成)

(3)消費者物価指数(生鮮食品を除く総合指数)

(2020年基準・前年同月(期)比%)

		2022年	2023年	2024年	2024年			2024年			2025年
					4-6月	7-9月	10-12月	10月	11月	12月	1月
消費者物価指数	中国	2.4	3.1	2.4	2.3	2.6	2.6	2.3	2.6	3.0	3.3
	全国	2.3	3.1	2.5	2.4	2.6	2.6	2.3	2.7	3.0	3.2

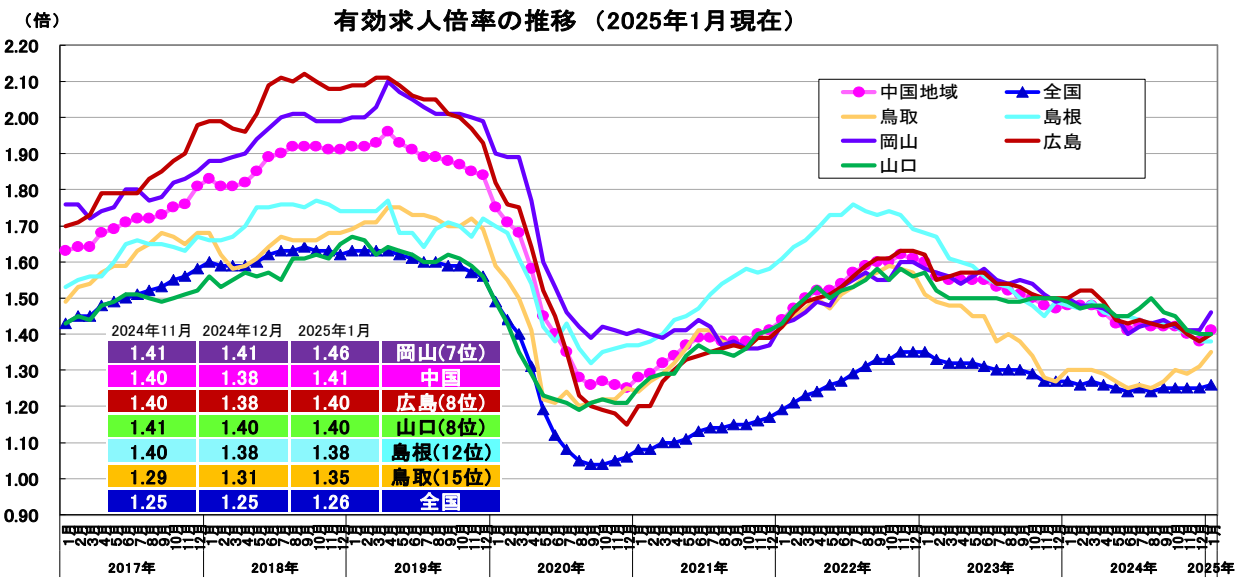
(資料 総務省 ※中国地域四半期は当局計算値)

3. 雇用 ～有効求人倍率は前月に比べ上昇、新規求人数は前月比で増加～

1月の有効求人倍率は、1.41倍で前月の値を0.03ポイント上回った。また、新規求人数(季節調整値)は、前月比2.3%で2か月連続の増加となった。

(季節調整値)		2022年	2023年	2024年	2024年 4-6月	7-9月	10-12月	2024年 10月	11月	12月	2025年 1月
有効求人倍率※1	中国	1.55	1.53	1.43	1.43	1.42	1.40	1.42	1.40	1.38	1.41
	全国	1.28	1.31	1.25	1.25	1.24	1.25	1.25	1.25	1.25	1.26
新規求人数※1	中国	63,735	62,266	58,634	57,773	58,459	57,260	57,755	55,937	58,088	59,419
		10.8	▲ 2.3	▲ 5.8	▲ 4.6	1.2	▲ 2.1	▲ 3.0	▲ 3.1	3.8	2.3
上段:人	全国	866,369	866,937	836,071	830,782	827,920	826,757	826,281	822,917	831,073	846,785
下段:前月(年・期)比%		10.8	0.1	▲ 3.6	▲ 2.7	▲ 0.3	▲ 0.1	▲ 0.6	▲ 0.4	1.0	1.9
完全失業率※2	中国	2.2	2.1	2.2	2.5	2.1	2.0	—	—	—	—
	全国	2.6	2.6	2.5	2.7	2.6	2.3	2.5	2.5	2.5	2.5

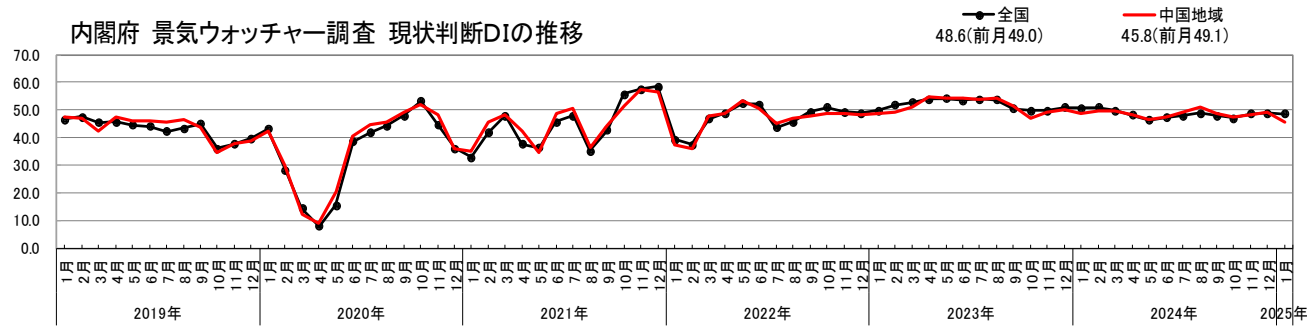
(資料:厚生労働省、総務省 ※有効求人倍率の中国地域年・四半期、新規求人数の中国地域、新規求人数全国前期比は当局計算値)



(資料:厚生労働省)

4. 景況感 ～現状、先行きともに前月に比べ低下～

内閣府の景気ウォッチャー調査(2025年1月調査結果)※3によると、中国地域の3か月前と比較しての景気の現状に対する判断DI(方向性)は45.8となり、前月差3.3ポイントの低下となった。
2～3か月先の景気の先行きに対する判断DIは47.4となり、同0.2ポイントの低下となった。



(資料:内閣府)

※1 年は原数値。年、四半期は平均。2024年12月以前の数値は、2025年1月分公表時に新季節指数により改定。

※2 年、四半期は原数値。

※3 2024年12月以前の数値は、2025年1月分公表時に新季節指数により改定。

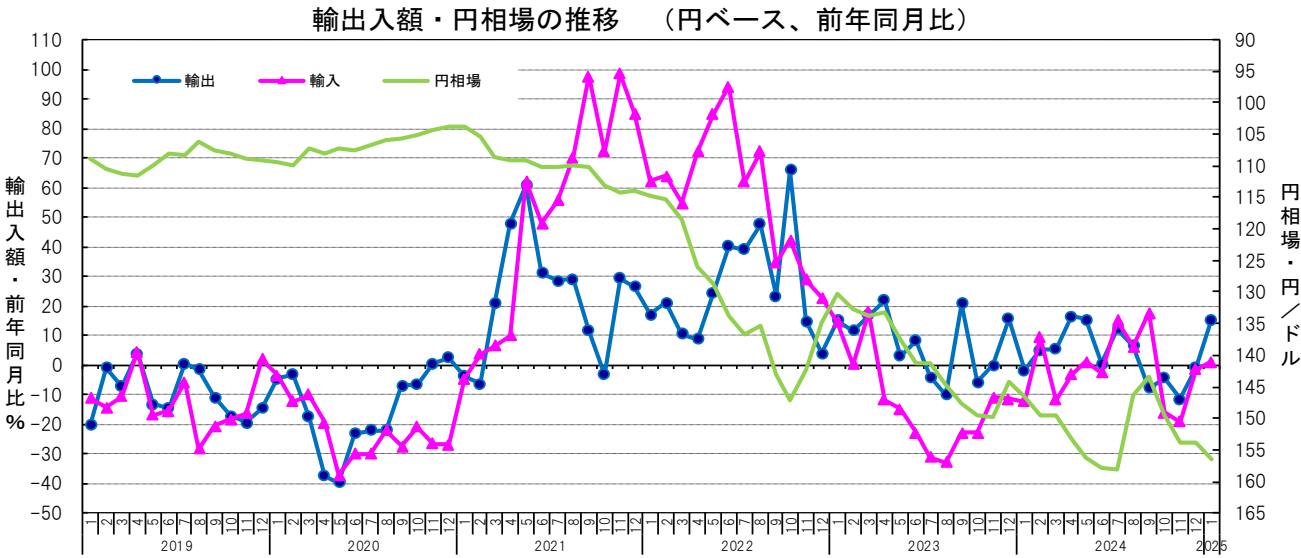
5. 貿易 ～輸出、輸入ともに前年同月比で増加～

1月の輸出は、前年同月比15.4%と5か月ぶりに前年を上回った。品目別では、船舶、自動車などが前年を上回った。地域別では、中南米、北米向けなどが前年を上回った。
1月の輸入は、前年同月比1.0%と4か月ぶりに前年を上回った。品目別では、石油製品、金属鉱及びびくずなどが前年を上回った。

(通関ベース、円ベース、前年同月(期)比%)※5

			2022年	2023年	2024年	2024年			2024年			2025年
						4-6月	7-9月	10-12月	10月	11月	12月	1月
輸出	総合	中国地域	25.3	6.9	2.6	10.3	3.2	▲ 5.4	▲4.4	▲11.4	▲0.9	15.4
		全国	18.2	2.7	6.2	8.8	4.5	3.2	3.1	3.8	2.8	7.3
	自動車(中国地域)※4		18.9	34.2	▲ 3.2				▲23.9	▲27.0	▲16.8	18.3
	鉄鋼(中国地域)※4		36.3	▲ 12.9	▲ 5.0				▲17.9	▲9.4	▲1.0	1.2
輸入	総合	中国地域※4	55.1	▲ 14.0	▲ 2.3	▲ 1.5	12.9	▲ 12.1	▲15.9	▲19.3	▲1.4	1.0
		全国※4	39.6	▲ 6.8	1.8	6.9	6.8	▲ 0.5	0.5	▲3.8	1.7	16.5
	原粗油(中国地域)※4		79.0	▲ 23.4	▲ 20.9				▲38.9	▲38.6	▲27.0	▲13.5
	石炭(中国地域)※4		182.5	▲ 21.8	▲ 19.9				▲30.8	▲13.4	10.1	▲19.3
為替※6		円／ドル	131.38	140.48	151.48	155.79	149.22	152.36	149.63	153.72	153.72	156.49

(資料：財務省、日本銀行 ※四半期、中国地域の品目は当局計算値))



※4 月次は速報値。

※5 数値は確報、確々報、確定報により修正されることがある。

※6 為替は東京インターバンク相場(スポット 月中平均 中心、日本銀行公表)

6. 建設動向 ～公共工事、住宅建設ともに前年同月比で減少～

1月の中国地域の公共工事請負金額は、独立行政法人等、市町村で前年を上回ったものの、国、県、その他公共的団体で前年を下回った。合計では前年同月比▲9.2%と8か月連続で前年を下回った。
1月の新設住宅着工戸数は、給与住宅、分譲住宅で前年を上回ったものの、持家、貸家で前年を下回った。合計では前年同月比▲16.6%と3か月ぶりに前年を下回った。

		(前年同月(期)比%)									
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年			2024年			2025年
					4-6月	7-9月	10-12月	10月	11月	12月	1月
公共工事請負金額	中国	▲ 4.8	▲ 0.3	8.8	11.2	▲ 13.0	▲ 10.0	▲ 1.7	▲ 14.4	▲ 18.1	▲ 9.2
	全国	▲ 8.6	▲ 0.4	5.3	8.8	2.2	1.2	3.2	4.6	▲ 5.7	▲ 1.3
新設住宅着工戸数 ^{※7}	中国	9.4	▲ 0.3	▲ 12.4	▲ 14.0	▲ 7.2	4.4	▲ 17.2	0.8	33.5	▲ 16.6
	全国	6.6	▲ 0.6	▲ 7.0	0.5	▲ 2.0	▲ 2.4	▲ 2.9	▲ 1.8	▲ 2.5	▲ 4.6

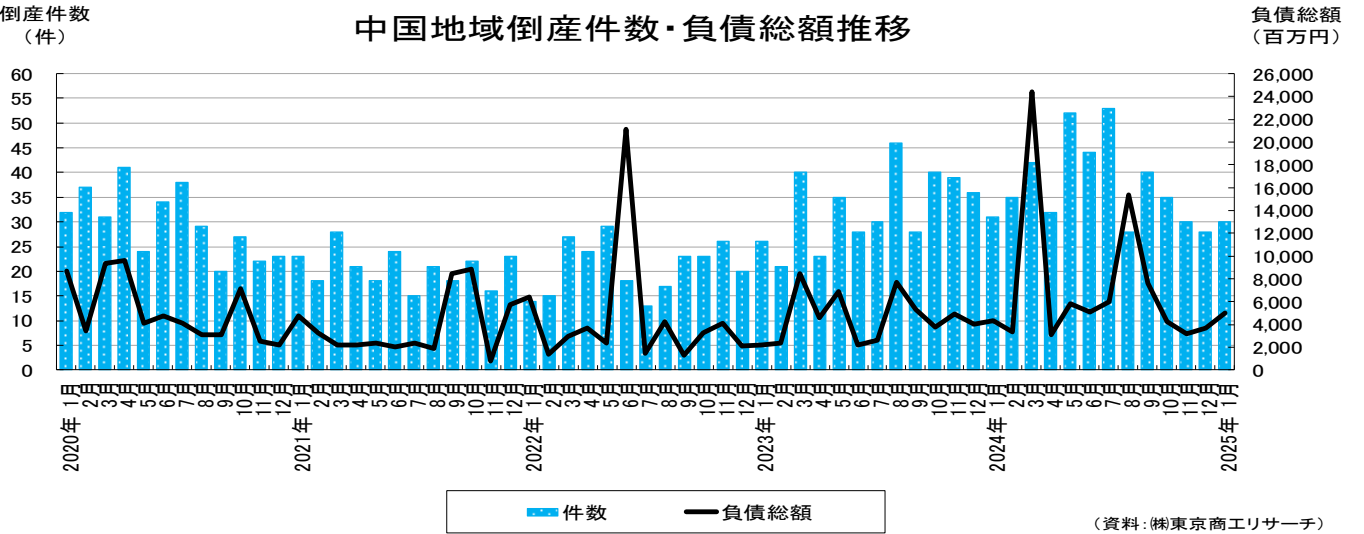
(資料:「公共工事請負金額(中国地域)」(西日本建設業保証(株)広島支店)、「同(全国)」(北海道建設業信用保証(株)、東日本建設業保証(株)、西日本建設業保証(株))「新設住宅着工戸数」(国土交通省)
※公共工事請負金額・新設住宅着工戸数の四半期は当局計算値)

7. 企業倒産 ～件数は前年同月比で減少、負債総額は前年同月比で増加～

1月の企業倒産件数は30件で、前年同月比▲3.2%と4か月連続で前年を下回った。また、負債総額は49億8,500万円で、前年同月比15.2%と3か月ぶりに前年を上回った。
業種別にみると、サービス業他が7件、建設業、製造業が6件、卸売業が5件などとなった。
原因別にみると、販売不振が21件、既往のシワ寄せが4件などとなった。

		(前年同月(期)比%)									
		2022年	2023年	2024年	2024年			2024年			2025年
					4-6月	7-9月	10-12月	10月	11月	12月	1月
企業倒産件数	中国	0.8	57.4	14.8	48.8	16.3	▲ 19.1	▲ 12.5	▲ 23.1	▲ 22.2	▲ 3.2
	全国	6.6	35.2	15.1	25.2	10.9	7.6	14.6	4.2	4.0	19.8
負債総額	中国	20.6	1.2	56.6	1.8	85.3	▲ 11.6	14.7	▲ 34.1	▲ 8.8	15.2
	全国	102.6	3.1	▲ 2.5	▲ 43.2	5.5	20.0	▲ 17.9	68.9	88.0	53.5

(資料: (株)東京商工リサーチ ※小数点以下第2位で四捨五入した値 四半期は当局計算値)



※7 数値は公表元の修正にあわせて修正されることがある。

8. 設備投資 ～2024年度計画は前年度を上回る見込み～

日本銀行広島支店の企業短期経済観測調査結果(2024年12月)によると、2024年度の設備投資計画(含む土地投資額)は、製造業が前年度比13.9%、非製造業が同30.4%となり、全産業では同21.8%となっている。

◆企業短期経済観測調査結果(2024年12月調査)

設備投資額(含む土地投資額) (前年度比・%)

		2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度 計画
中国	全産業	▲ 1.5	9.3	5.9	21.8
	製造業	3.1	2.5	3.1	13.9
	非製造業	▲ 7.1	18.3	8.9	30.4
全国	全産業	▲ 0.8	9.2	10.6	9.7
	製造業	1.1	9.0	6.7	15.1
	非製造業	▲ 1.9	9.3	12.8	6.7

(資料: 日本銀行、同広島支店)

